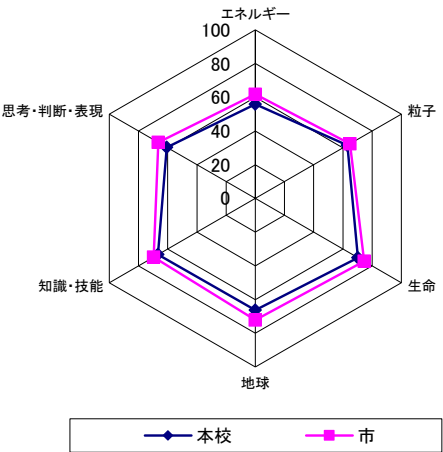


宇都宮市立陽南中学校 第3学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	エネルギー	55.9	61.8	60.6
	粒子	63.1	64.8	54.0
	生命	70.3	74.5	66.6
	地球	66.3	72.1	63.0
観点別	知識・技能	66.7	69.6	63.4
	思考・判断・表現	60.7	66.5	57.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
エネルギー	○コイルが磁界から受ける力の向きを反対にする方法を考える問題では、正答率が全国を上回っている。 ●実像の像の向きを指摘する問題では、正答率が市を6.9ポイント下回っている。 ●コイルが磁界から受ける力の大きさを、大きくする方法を説明する問題では、正答率が市を6.8ポイント下回っている。	・実像の向きなどについて、できる像のイメージをしやすくするために、虫眼鏡や凸レンズを用いた実験を行い体験的な面からのアプローチを増やすほか、作図の時間を多くとり、理解を促す。 ・知識の定着のためにコイルが磁界から受ける力の大きさを調べる実験を行うほか、演示実験やモーターの仕組みについて調べるなど、自主的な学びを促すような授業づくりを目指す。
粒子	○酸性の水溶液にアルカリ性の水溶液を加えたときの水溶液の性質の変化を指摘する問題では、正答率が市を1.4ポイント上回っている。 ○できた物質を「塩」と指摘する問題では、正答率が市を4.9ポイント上回っている。 ●水素イオンの数の変化を指摘する問題では、正答率が市、全国を下回っている。	・イオンの変化や動きを理解しやすくするために、モデル図を利用した授業を行い、視覚的な理解を促す。 ・イオンの式や化学反応式の問題を繰り返し練習することで、知識の定着を図る。
生命	○血液中の成分のはたらきを問う問題では、正答率が全国、市を上回っている。 ○毛細血管について問う問題では、正答率が全国、市を上回っている。 ●裸子植物を分類する問題では、正答率が市を9.6ポイント下回っている。	・植物の分類の知識を深めるために、観察活動において実物を扱う他、写真や動画を積極的に生徒に視聴させて、視覚的な知識の定着を目指す。
地球	○風向と風力を指摘する問題では、正答率が全国を上回っている ●地震が発生した時刻を推測する問題では、正答率が市を11.2ポイント下回っている。	・速さや時間の計算の定着を目指し、地震の発生した時刻やその速度についての計算練習を繰り返し行う。 ・緊急地震速報の仕組みなどについて授業で触れ、実生活との結びつきを意識させて、学習意欲の向上を図る。